



今思い出してもなんとも言えないね
あのときは言葉にならなかつた

白沢町いちご組合
組合長
石塚 良治さん
(白沢町上古語父)
Ryoji Ishizuka

YOROZU よろずとーく 94 TALK

昨年2月に県内全域を襲った記録的な豪雪。市内でも数多くのビニールハウスが倒壊し、農作物に甚大な被害が発生した。
「今思い出してもなんとも言えないね。がっかりしたし、あのときは言葉にならなかつた」
石塚さんも所有しているいちごハウス5棟が倒壊。7割のいちごを出荷目前に失った。
「もうやめようと思ったかな。1カ月くらいは。でも、いちごは出荷先の座・白沢でも人気があるし、支援もあつたからね」
昨年秋に完成した4棟のいちごハウス。豪雪に備えハウスとハウスの間には間隔を設け、雪の重みで再び倒壊しないよう工



豪雪から1年。丹精を込めて育てた『やよいひめ』が新しいハウスで大粒に実っていた

夫が施されていた。
「この数年間だけでも震災に伴う混乱や降りようでりんごが全滅したり、大雪でいちごハウスがやられたりと、自然に翻弄されてきました。その都度収入だけを考えたんじゃない。やっぱりお客さんが買ってくれる喜びがあつたから、続いたのかな」
就農してから50年。いちご栽培に携わって30年。長い年月を農業と向き合い歩んできた石塚さん。最後に、次代を担う若手農業者へ伝えたい思いを尋ねた。
「土地が狭いし大量生産できるわけじゃないから、まずは基礎となる技術がないと。県外でも良い技術があるならそこに行つて学ぶ意欲がないとね。たとえ国外であっても、留学するくらい意欲がなければ駄目じゃないかな。研究して一つにこだわつてやれば成功できると思うよ」

立志の誓いを胸に 白沢中学校・沼田東中学校立志式 2月3日(火)・4日(水)

将来の進路や生き方を見つめる機会として立志式が実施され、両校の2年生、計90人が人生や将来の夢について目標を立てました。
来賓や保護者の前で誓いの言葉を述べる生徒たち。大人への一步を踏み出すその姿は、頼もしく希望に満ちあふれた様子でした。



家庭と仕事の両立を支援 ママ・主婦の働きたいを応援する就職面接会 2月17日(火)

働きたいママ・主婦を応援しようと初めて開催された就職面接会。
託児やメーキャップ相談のコーナーも設置された会場では、企業側から求職者一人一人にきめ細やかな説明が行われ、参加者から好評の声が上がりました。



「若者を育てる職場づくり」をテーマに 沼田市地域・産業活性化講演会 2月10日(火)

地域の産業と経済の活性化を目的に開催された、沼田市地域・産業活性化講演会。
講師には一昨年の夏、前橋育英高校を甲子園「初出場初優勝」の快挙に導いた荒井直樹監督を招き、凡事徹底や一人一人と向き合い話し合うことの大切さなどが語られました。

市ホームページでも、イベント結果などを紹介しています。ぜひ、ご覧ください。

ぬまたプラオトやんぽ

われら『いきいき』サークル 252

川田ひだまりの会 (会員数8人)

代表者 岡野 行男 さん
(連絡先 ☎090-6133-7296)



川田ひだまりの会は、昨年1月、沼田市社会福祉協議会と利根保健生活協同組合の支援によって上川田町に開設した、「川田ひだまりの家」を拠点に活動しています。住民同士が気軽に集まって交流できる場所を目指し、参加者の意見を取り入れながら、健康マージャンとカラオケを月3回ずつ開催し、リサイクル事業も行っています。年齢・性別・地域を問わず、参加費も無料で、いつでも誰でも参加できます。興味のある人は、ぜひ、ご連絡ください。